

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371401288
事業所名	グループホーム 名古屋鳴海の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 地域との交流を最重要課題とし、継続して町内会加入を申し入れているが、思わしい返事を得ていない。 民生委員の助言で子供会との交流が叶えられ、行事に参加できるようになった。 体験学習等の依頼には快く応じている。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 偶数月開催を目安に、いきいき支援センター職員、地域住民、民生委員、利用者・家族、知見者を招いて運営推進会議を開催している。 本年度から参加者の要望を採り入れ、テーマを決めた研修・勉強会を実施しており、熱心な取り組みがみられる。	評価	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） いきいき支援センター職員だけでなく、行政担当者にも運営推進会議への案内・出席要請を続けているものの来訪は少ない。 生活保護受給者の利用があり、役所を訪問して情報交換している。 行政の要請に応じて「高齢者の見守り隊」を引き受け、独居老人の異変を行政に通報している。	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 運営推進会議・ホーム訪問・ホーム便り等を活用し、意向や要望の把握に努めている。 足の遠のいている家族とは電話による応対も多い。 利用者には定期的に嗜好調査を実施し、好み・食べたいもの等を把握している。	評価	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価	○
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。		○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。		○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。		○
総合評価			○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○			